



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ダイオーズ
 コード番号 4653 URL <http://www.daiohs.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 大久保 真一
 (氏名) 丹治 勝秋

TEL 03-3438-5511

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,088	△0.4	449	4.6	454	△0.8	249	△4.6
23年3月期第2四半期	7,118	△5.5	429	6.2	458	8.5	261	19.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 37百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	18.56	—
23年3月期第2四半期	19.46	19.45

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	8,457	6,798	6,798	80.4	506.57	
23年3月期	8,461	6,961	6,961	82.3	518.77	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,798百万円 23年3月期 6,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,220	0.9	958	11.9	975	10.9	537	53.0	40.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	13,439,142 株	23年3月期	13,439,142 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	19,152 株	23年3月期	19,152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	13,419,990 株	23年3月期2Q	13,420,034 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

①国内部門

A. 組織

当第2四半期における組織は、4つの営業本部を中心に、開発生産本部、管理本部を加えた6本部と「経営企画室」を加えた7部門体制で臨みました。中期目標である「事業単位での営業体制の確立」に向け、異なる事業が混在する首都圏各拠点の「拠点再編」については、今期中の完成に向け計画通り順調に進んでおります。また、今期の課題の1つでもあるサービス業の原点に立つ為の「年中無休の365日営業体制」については、先ず東京23区を対象とし、8月中旬に「東京カスタマーセンター」を開設し、土日祝日でのサービス体制をスタートしました。今後は同様のサービス体制の範囲を順次全国に拡大していく予定であり、顧客ニーズに対する迅速性を高め、更なる「顧客満足度」向上に努めてまいります。

B. 営業

今期より、従来の営業体制を見直し、商品毎のセールスチームを編成し、専門性を高める事により、顧客の求める価値に対してスピーディーに対応できる体制を整えてまいりました。拡販プロモーションにおいても、第1四半期に引き続き、当期も事業単位での実施に努め、「飲料部門」、「環境部門」共に目標数値を大きく上回る成果を納める事ができました。「飲料部門」においては夏場の需要期も重なり「ボトルウォーター」の拡販が堅調でした。また、昨年開発した「ティーサーバー」も顧客からの高い評価を得て販売台数を着実に伸ばしており、今後の成長の要となる商材として更なる拡販強化に努めてまいります。一方、「環境部門」においては、各拠点のドミナント化を促進する為に営業社員の担当エリアを明確にし、第1四半期で収集したデータを基に地域密着営業を強化してまいりました。その結果、東日本大震災で被災した東北3店の売上は予定を上回るペースで回復しており、その他のエリアにおいても今期予測を上回る順調な営業成果を納め、売上においては当期及び通期においても対前年同期比を上回る業績で推移しております。

②米国部門

A. 組織

当第2四半期では、前期に引き続き可能な限り人員を増やさずに生産性を高めるための各政策を実施しております。このため、特に大きな組織変更は行なっておりません。

B. 営業

2007年後半より米国の景気は停滞期に入っていましたが、昨年より一進一退を繰り返しているものの、これ以上悪化してはいないという「底打ち状態」に入っています。当社におきましては、特に進出してまだ数年のテキサスやコロラドなど成長過程にある拠点などで販売数量が堅調に増加しております。その一方、商品相場高騰の影響で当社の主力商品であるコーヒーの原価も過去12ヶ月にわたって非常に大きく上昇しました。しかしながら、現時点では原価上昇分は販売価格に転嫁できております。結果として、当第2四半期の総売上高は前年同期比109.1%（ドルベース）となりましたが、売上原価も上昇しているため、売上総利益としては前年同期比105.0%（ドルベース）となっております。

一方で、経費面では拠点毎に利益を最大化できる「あるべき売上規模」を設定し、その規模に到達するように売上管理をする「モデル経営」を戦略的に導入いたしました。その結果、対前年比で売上や売上総利益は上昇した一方で、人件費総額は前年同期比98.1%（ドルベース）と逆に減少をしており、経営の効率化に向けて順調な改善が進んでおります。

その結果、営業利益としては前年同期比442.3%（ドルベース）と大幅増加し、増収増益路線に復帰いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は70億88百万円(前年同期比0.4%減)、売上総利益は41億12百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は4億49百万円(前年同期比4.6%増)、経常利益は4億54百万円(前年同期比0.8%減)、四半期純利益は2億49百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は84億57百万円で、前連結会計年度末比3百万円減少となりました。

流動資産は47億10百万円で前連結会計年度末比2億40百万円増加となりました。これは主に現金及び預金が2億72百万円増加したことによるものです。固定資産は37億47百万円で前連結会計年度末比2億44百万円減少となりました。これは主にのれんが2億4百万円減少したことによるものです。

負債合計は16億59百万円で、前連結会計年度末比1億59百万円増加となりました。これは主に短期借入金が95百万円、未払法人税等が73百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、67億98百万円で、前連結会計年度末比1億63百万円減少となりました。主な要因は、利益剰余金が47百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が2億11百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、第3四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成23年5月13日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,119,175	2,391,862
売掛金	1,278,659	1,262,303
リース投資資産	240,940	240,341
商品及び製品	439,590	441,813
仕掛品	4,496	6,021
原材料及び貯蔵品	63,865	73,283
繰延税金資産	215,455	176,612
その他	167,482	184,418
貸倒引当金	△59,504	△65,881
流動資産合計	4,470,160	4,710,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	660,312	681,931
機械装置及び運搬具(純額)	206,203	242,462
工具、器具及び備品(純額)	474,424	446,247
土地	744,249	739,699
建設仮勘定	108,780	—
有形固定資産合計	2,193,970	2,110,339
無形固定資産		
のれん	851,166	646,841
その他	162,870	193,971
無形固定資産合計	1,014,036	840,813
投資その他の資産		
投資有価証券	205,117	206,010
レンタル資産	203,721	199,968
繰延税金資産	213,744	233,431
その他	185,331	180,965
投資損失引当金	△24,467	△24,467
投資その他の資産合計	783,448	795,908
固定資産合計	3,991,455	3,747,061
資産合計	8,461,615	8,457,836

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	353,122	343,577
短期借入金	212,362	307,487
未払法人税等	69,299	142,609
未払費用	266,769	239,906
賞与引当金	99,847	111,911
その他	412,500	428,561
流動負債合計	1,413,901	1,574,053
固定負債		
繰延税金負債	38,194	38,108
資産除去債務	29,378	29,667
その他	18,226	17,823
固定負債合計	85,800	85,599
負債合計	1,499,701	1,659,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,119,484	1,119,484
利益剰余金	5,594,455	5,642,249
自己株式	△7,937	△7,937
株主資本合計	7,757,136	7,804,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,776	2,500
為替換算調整勘定	△797,999	△1,009,247
その他の包括利益累計額合計	△795,223	△1,006,747
純資産合計	6,961,913	6,798,184
負債純資産合計	8,461,615	8,457,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,118,685	7,088,670
売上原価	2,892,242	2,976,417
売上総利益	4,226,442	4,112,252
販売費及び一般管理費	3,796,803	3,662,900
営業利益	429,639	449,351
営業外収益		
受取利息	402	652
受取配当金	301	267
仕入割引	9,407	8,707
持分法による投資利益	16,578	—
その他	7,962	6,562
営業外収益合計	34,652	16,189
営業外費用		
支払利息	1,642	1,135
持分法による投資損失	—	1,219
為替差損	3,776	8,096
その他	481	220
営業外費用合計	5,899	10,672
経常利益	458,391	454,868
特別利益		
固定資産売却益	1,966	597
賞与引当金戻入額	2,935	—
特別利益合計	4,902	597
特別損失		
持分変動損失	553	—
固定資産売却損	320	88
固定資産除却損	326	988
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,328	—
特別損失合計	11,528	1,077
税金等調整前四半期純利益	451,765	454,389
法人税、住民税及び事業税	210,492	212,495
法人税等調整額	△19,814	△7,200
法人税等合計	190,678	205,294
少数株主損益調整前四半期純利益	261,087	249,094
四半期純利益	261,087	249,094

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	261,087	249,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△817	△275
為替換算調整勘定	△288,999	△205,683
持分法適用会社に対する持分相当額	5,346	△5,564
その他の包括利益合計	△284,469	△211,523
四半期包括利益	△23,382	37,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,382	37,570

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	451,765	454,389
レンタル原価	102,366	59,439
減価償却費	439,958	397,970
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,823	6,611
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,566	12,063
受取利息及び受取配当金	△703	△919
支払利息	1,642	1,135
為替差損益(△は益)	3,776	8,400
持分法による投資損益(△は益)	△16,578	1,219
固定資産売却損益(△は益)	△1,646	△509
固定資産除却損	326	988
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,328	—
持分変動損益(△は益)	553	—
売上債権の増減額(△は増加)	17,952	△20,398
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,579	△30,657
リース投資資産の増減額(△は増加)	△21,088	598
仕入債務の増減額(△は減少)	△45,984	522
未払費用の増減額(△は減少)	△5,336	△20,535
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,919	31,778
その他	△47,252	△15,796
小計	911,837	886,300
利息及び配当金の受取額	703	919
利息の支払額	△1,611	△1,134
法人税等の支払額	△163,315	△118,857
法人税等の還付額	30,501	654
営業活動によるキャッシュ・フロー	778,115	767,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△370,236	△166,508
有形固定資産の売却による収入	2,446	2,773
無形固定資産の取得による支出	△62	△12,980
投資有価証券の取得による支出	△60	△60
子会社株式の取得による支出	△42,817	—
関連会社株式の取得による支出	—	△14,626
レンタル資産の取得による支出	△48,511	△65,524
事業譲受による支出	△8,300	△86,990
事業譲渡による収入	—	5,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△467,541	△338,673
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	100,000
自己株式の取得による支出	△37	—
配当金の支払額	△199,696	△199,935
財務活動によるキャッシュ・フロー	△199,733	△99,935
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67,615	△56,585
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43,225	272,687
現金及び現金同等物の期首残高	2,416,398	2,119,175
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,459,623	2,391,862

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,060,761	3,057,924	7,118,685	—	7,118,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,634	—	53,634	△53,634	—
計	4,114,395	3,057,924	7,172,319	△53,634	7,118,685
セグメント利益	436,075	47,197	483,273	△53,634	429,639

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,094,923	2,993,746	7,088,670	—	7,088,670
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,612	—	48,612	△48,612	—
計	4,143,535	2,993,746	7,137,282	△48,612	7,088,670
セグメント利益	310,620	187,343	497,963	△48,612	449,351

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。